

## 「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

### 1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先だけでなくサプライチェーンの深い層の取引先に働きかけることにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。

(個別項目)

- a. 企業間の連携（オープンイノベーション、M&A等の事業承継支援、取引先のテレワーク導入支援等）
  - ・食材供給業者との信頼関係を重視し、安定的かつ公正な取引を継続します。
- d. グリーン化の取組（脱・低炭素化技術の共同開発、省エネ診断に係る助言・支援、生産工程等の脱・低炭素化、グリーン調達等）
  - ・環境に配慮した容器（紙製・バイオマス・リサイクル材等）への切替を進めてプラスチック使用量を減らすとともに、配送ルートの見直しや食品ロス削減に取り組み、CO<sub>2</sub>排出量の低減に努めます。
- e. 健康経営に関する取組（健康経営に係るノウハウの提供、健康増進施策の共同実施等）
  - ・無理のないシフト調整、安全な作業手順の徹底、厨房内の温度管理など、働きやすい職場づくりを進めます。

### 2. 「振興基準」の遵守

発注方法の改善、対価の決定の方法の改善、代金の支払方法の改善、型等に係る取引条件の改善、知的財産の保護及び取引の適正化等を含む委託事業者と中小受託事業者との望ましい取引慣行（受託中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

### 3. その他（任意記載）

地域社会の一員としての責任を果たすため、地元イベントや学校・自治会との連携、防災への協力、食育活動など、地域に貢献する取組を積極的に行います。

2026年3月16日

受託中小企業振興法に基づく「振興基準」の内容を理解した上で宣言します。

\_\_\_\_\_  
(有)若竹  
企業名

\_\_\_\_\_  
代表取締役 西野 雅洋  
役職・氏名（代表権を有する者）

(備考)

- ・本宣言は、(公財)全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイトに掲載されます。
- ・主務大臣から「振興基準」に基づき指導又は助言が行われた場合など、本宣言が履行されていないと認められる場合には、本宣言の掲載が取りやめになることがあります。